



みつばちは人間の生活を支える大切な昆虫です

みつばちは多くの植物受粉をすることで、生態系の一翼を担っています。

現在、みつばちの減少が世界中で大問題になっている理由は、われわれが毎日食べている果物や野菜が蜜蜂の減少で、食べられなくなる日が来るという危機が近づいているからです。みつばちは、はちみつを生産するだけではなく、あらゆる果物や野菜の受粉をすることで、それらの健全な生産を支えており、今や果物や植物の生産に欠かせない大切な昆虫です。いちご、りんご、もも、さくらんぼ、梅、メロン、スイカ、キウイフルーツ、柿、ピーマン、きゅうり、なす、シソ、レモン、みかん、ブロッコリー、玉ねぎ、そば、アーモンド、えごま、等これらはすべてみつばちの働きがあって生産されています。そして乳牛や牧羊の餌もみつばちの受粉によるものです。みつばちがいなくなってしまうとミルクやチーズの生産にも影響が心配されます。

みつばちはごく微量の農薬で死んでしまう昆虫です。欧米諸国ではもちろん、日本でも大量の蜜蜂が巣箱の前で死んでいたり、突然全てのみつばちが失踪したり（Colony Collapse Disorder）、うまく越冬するはずのみつばちが次々と命を落としていきます。一生懸命働き、人間にたくさんの利益をもたらすみつばちの「頌徳」を称え、心から感謝し、人間はこれからもみつばちと共に生きて行くために、みつばちがこれまで守ってきた環境と生態系をより深く考え、行動しなければならないと思い、養蜂家の集まりである、岩手県養蜂組合は、約50年前に「蜜蜂頌徳の碑」を建立しています。



岩手県養蜂組合

事務局 〒028-0115

花巻市東和町

安俵一区5番地-7

菅木（すがき）